

主催：西宮市高木公民館 地域学習推進員会

観光・郷土史

西宮「えびすかき」

人形浄瑠璃の源流『えびすかき』継承

えびす様が鯛をつりあげて、皆様に大きな福を授ける門付け芸
現代の風刺を効かせた令和のえびすかきが演じます



プロフィール

室町時代あたりから、西宮神社の周辺に住んでいたと言われる「えびすかき」。えびす人形を操りながら、全国にえびす信仰を広めました。江戸時代に西宮から淡路島に移り、淡路人形浄瑠璃を生みだします。そして、大阪で文楽として洗練していきます。その「えびすかき」を貴重な地域文化遺産として復興させることを目的に、2006年に結成。西宮神社の祭りでは奉納演芸をし、また毎月10日（十日参りの日）に境内で上演。太夫 武地秀実さんが身罷られて幾星霜を経ても、えびすかきの口上で福を授け舞う姿は引き継がれています。

日時 2月16日(日)13時30分～(約1時間)
場所 高木公民館 講堂(3階)
出演 人形芝居 えびす座 太夫 松田恵司
囃子方 細井泰江
定員 60名(当日受付 先着順 無料)

開演後、入場をお断りする場合がありますのでご了承ください。

西宮市立
高木公民館

〒663-8033 西宮市高木東町15-10

TEL 0798-65-1569

※問い合わせは、平日9:00～17:00にお願いします。

暴風・大雨などの警報発令時は、中止となる場合があります。
感染対策上、咳エチケットなどのご協力をお願いします。